

令和2年（2020年）2月20日

飯豊電池バレー構想の実現に向けた検討状況について

【概要】

飯豊町と山形大学並びに山形銀行は、平成28年1月に連携・協力に関する協定を締結し、山形大学 xEV 飯豊研究センターを活用した地域活性化の推進や、人材育成、自然・文化と最先端科学技術が融合するまちづくりの推進などについて、連携・協力してきました。

このたび、「飯豊電池バレー構想」の実現に向け、三者での協議を行い、事業化の推進に向けた体制の再構築など、今後の方向性について確認しました。山形大学 xEV 飯豊研究センターは、研究から事業化の推進支援へ軸足をシフトさせ、今後も地域の発展に貢献できるような取り組みを推進して参ります。また、三者会議を定期的で開催し、さらなる連携強化に努めます。

【今後の方向性】

①飯豊町・山形大学・山形銀行の連携協力関係の継続

三者の連携・協力に関する協定書に基づき、引き続き、三者が連携・協力する。

②飯豊電池バレー構想の実現に向けた推進体制の再構築

「飯豊電池バレー構想」が、実用化研究開発の段階から事業化の段階にあることを踏まえ、関係機関が協議の上、推進体制を再構築する。なお、山形大学の関連する研究成果・設備等の権利について、事業化の段階において広く関係機関が活用しやすいよう、管理運用体制を整える。

③山形大学xEV飯豊研究センターの継続

本センターはこれまでどおり継続する。なお、事業化の段階におけるその機能及び名称について、三者で今後1年を目途に検討する。

お問い合わせ

山形大学総務部総務課 広報室（菅井）

TEL 023-628-4008 メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp